

学校のCOVID（新型コロナウイルス感染症）対策

ご家族向け情報

児童・生徒の学習と成長および福祉にとって、教室で一緒に学ぶことが最良であるのは周知の事実です。児童・生徒のウェルビーイングと首尾一貫した実りある学習環境を両立させるために、今学期もいくつかの対策を引き続き実施していきます。

体調が悪いときは自宅待機を

- お子さんの体調が優れないときは自宅で待機させる必要があります。症状が軽くてもCOVID-19の症状がみられる場合には、COVID検査を受けて隔離する必要があります。
- お子さんは検査結果が陰性となり、症状がなくなって初めて学校に復帰できます。
- お子さんのCOVID-19検査結果が陽性の場合、サービスNSW (Service NSW) に陽性結果を登録した上、7日間隔離してNSW保健省のガイドラインに従ってください。

ワクチン接種

- COVID-19およびインフルエンザのワクチン接種を受けることが、ご自分とご家族そして地域社会を守る最善の方法です。ワクチン接種は、免疫システムがウイルス性疾患に対して戦えるよう作用する安全で効果的な方法です。
- 普通校では、ワクチン接種対象の全職員および児童・生徒に対し、自分の健康を守るために遅れをとらないでワクチン接種を受けることが強く奨励されます。特別支援学校で働く全職員はCOVID-19に接触した場合に重症化リスクのある児童・生徒を守るためCOVID-19のワクチンを2回接種することが義務付けられています。

濃厚接触者

- 濃厚接触者と確認された児童・生徒は、症状がない限り通学しても構いませんが、その場合は必ず学校に通知を行い、5日間（授業日）にわたり毎朝登校前にCOVID-19検査を受け、結果が陰性であることを確認する必要があります。
- セカンダリー・スクールの児童・生徒は、食事中あるいは運動中を除いて、室内ではマスクを着用する必要があります。プライマリー・スクールの児童・生徒は食事中あるいは運動中を除いて、室内ではマスク着用が推奨されます。
- 濃厚接触者と確認された児童・生徒は、一泊旅行あるいは学校のキャンプなど高リスクの環境に参加することは許可されません。
- 特別支援学校および支援学級の児童・生徒は濃厚接触の場合、学校に通学できません。自己隔離期間中、遠隔で学習のサポートを受けます。

迅速抗原検査

- お子さんにCOVID-19の症状がみられる場合は、たとえ症状が軽くても迅速抗原検査を受ける必要があります。また濃厚接触者として通学する場合は、規定された期間中、同検査を毎日受ける必要があります。
- お子さんがCOVID-19検査結果で陽性の場合、隔離期間が終了して症状がなくなるまで通学してはいけません。迅速抗原検査結果が陽性の場合、サービスNSW (Service NSW) に登録する必要があります。
- 検査結果が陰性と判明しても、お子さんは症状がなくなるまで通学すべきではありません。
- 職員および児童・生徒には、3学期の初めに迅速抗原検査キット5個入りのパックを1セットずつ学校を通してお渡しします。特別支援学校および支援学級の職員および児童・生徒には、迅速抗原検査キット5個入りのパックを2セットずつお渡しします。
- 学校は、感染者数が急激に増加した場合の検査目的で、迅速抗原検査キットの予備の在庫を保管します。

衛生と清掃

- 児童・生徒は常に石鹸水で手を洗い、必要に応じて個人保護具を使用する必要があります。
- 学校では、頻繁に触れる部分とその他硬表面の部分、ドアのハンドル、ロッカー、照明スイッチ、階段の手すりおよび人の動きの多い部分を重点的に、毎日念入りに清掃します。

換気

- 室内の空気を新鮮なものと入れ換えることは、感染リスクを低減するための最も効果的な換気方法です。
- 寒い日々には、快適な温度を保つために換気をしながら暖房を利用します。
- 公立学校のすべての学習空間は常に適切なレベルで換気されるよう確認されており、必要に応じて空気清浄機が用いられる場合もあります。
- 可能な限り戸外の空間を利用することが奨励されます。

マスク

- 普通校において、特に室内空間、また換気が不可能な場所や物理的距離を保つことが不可能な状況では、全職員および児童・生徒はできる限りマスクを着用することが強く奨励されます。
- COVID-19に感染した場合に重症化リスクのある児童・生徒を扱う全職員はマスク着用が義務付けられています。
- 特に児童・生徒と直接交流のある訪問者はマスク着用が強く勧められ、またCOVID-19に感染した場合に重症化リスクのある児童・生徒と交流する際には、マスク着用が義務付けられています。
- 濃厚接触者で通学する7年生以上の児童・生徒はマスク着用が義務付けられ、6年生以下の児童・生徒はマスク着用が強く奨励されます。
- COVID-19に感染したすべての児童・生徒には、回復後も3日間はマスクを着用することが強く奨励されています。

訪問者

- ワクチン接種の状況とは無関係に訪問者は普通校を訪問することができます。
- すべての訪問者は、特に室内または他人との距離を保てない場合、また児童・生徒と直接交流する際はマスク着用が強く奨励されます。
- 特別支援学校および支援学級の訪問者は、従業員およびボランティアの人を含めて、児童・生徒と直接交流する場合、マスクの着用が必要です。
- 学校を訪問する濃厚接触者の方は学校にその旨を報告し、室内ではマスクを着用するなど一定のガイドラインに従う必要があります。濃厚接触者の方は、特別支援学校への訪問は許されません。

活動

- 遠足や一泊二日のキャンプなどの活動計画には、健康と安全のリスク評価が織り込まれます。
- 保護者の方は、接触リスクを認識した上で、一定の活動に参加する許可を与える必要があります。

地元の状況に対応

- 学校は、保健・安全・職員の健康 (Health, Safety and Staff Wellbeing) を担当する教育省のケース・マネジメント・チームと協力し、ウイルス性疾患の急増などを含む各学校の状況に対して適切な対応をします。
- 学校は感染経路を断ち切るため、期間を限定してマスク着用義務、必要不可欠な活動以外の制限、一定のグループへの自宅学習の指示などの追加措置を導入する場合があります。

遠隔学習

- 当省は、遠隔学習を必要とする児童・生徒を支援する目的で継続的にデジタル学習資料を開発しています。

さらに詳しくは、下記のウェブサイトをご覧ください
education.nsw.gov.au/covid-19/advice-for-families

電話通訳サービス

さらに詳細情報をご希望の方は、学校長までお電話ください。お問い合わせの際に通訳を希望される方は電話通訳サービス (TEL: 131 450) をご利用ください。オペレーターが出ましたら、日本語の通訳をご指定の上、相手先の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話を手伝います。このサービスは無料でご利用いただけます。

NSW州政府は、児童・生徒および学校職員の安全とウェルビーイングを最優先するとともに学校運営を継続することをお約束します。